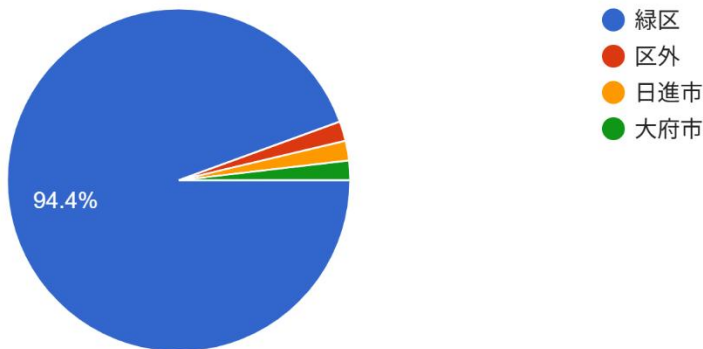


R7 年度 緑区多職種連携研修会アンケート結果
参加者64名中、回答者54名(回答率:84.3%)

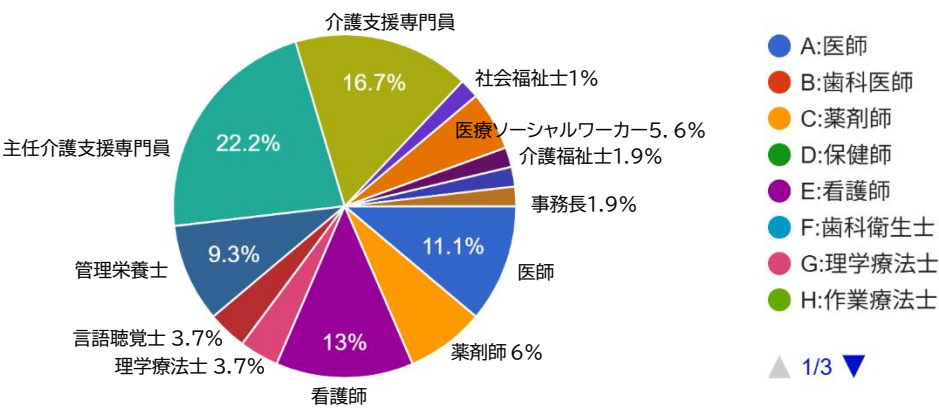
1. 職場所在地

54 件の回答



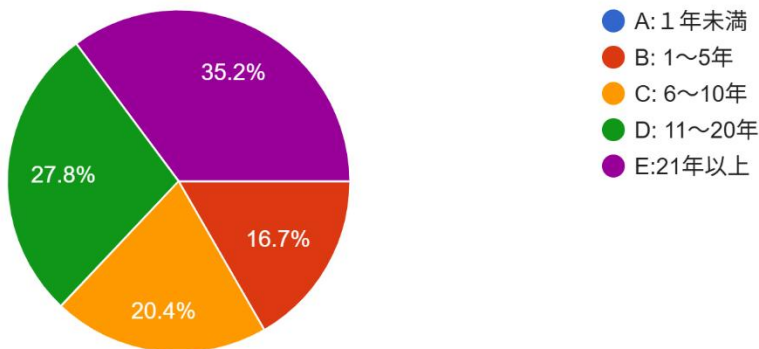
2. 職種

54 件の回答



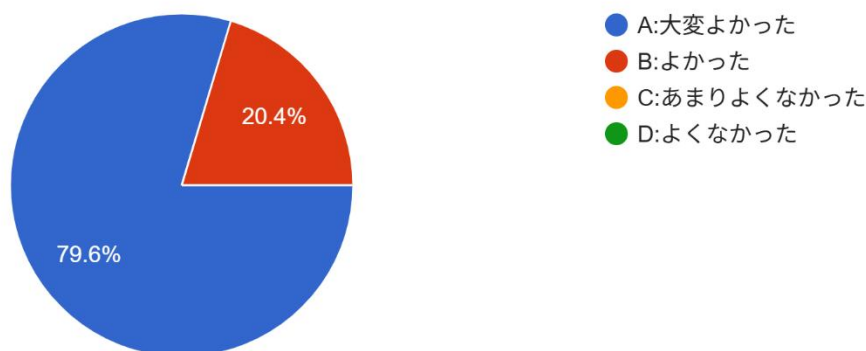
3. 経験年数を教えてください。

54 件の回答



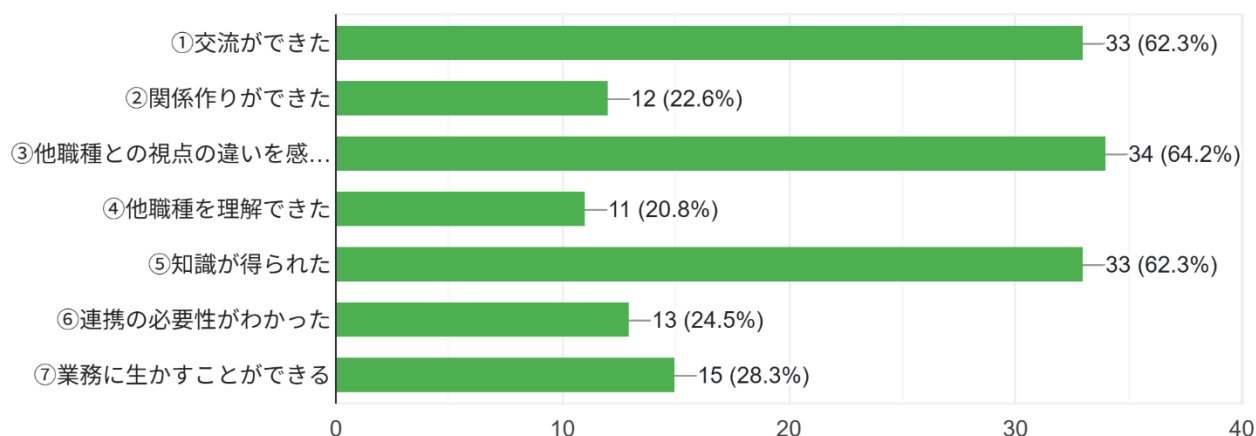
4. ① 参加してよかったと思いますか？

54 件の回答



A.B回答の方：そう思われた理由は何ですか？（複数回答可）

53 件の回答



4. ② 講演・グループワークを通して、どのような気づきがありましたか？（原文ママ） 44 件の回答

■医師

- ・OOVL のワークで点数化してみると自分たちが思っている方向性と違う結果になったことが面白かった。
- ・OOVL 活用してみようと思いました。
- ・話し合うプロセスが楽しかったです。いろんな視点が入るのがよいです。
- ・判断材料を上げ、重みづけを行うことで選択肢を深く検討できるのはとても有効なツールだと思いました。一方で重みづけを行うときに判断材料の知識を持ち合わせる必要があると感じた（ないと正しく評価できない）。
- ・多職種の貴重な意見を聞くことは非常に有意義なことでした。
- ・多職種で時間を取ってディスカッションをする有用性を実感できた。

■薬剤師

- ・どうしても家族よりの考え方になってしまった。
- ・患者中心で物事を勧めなければいけなく、迷ったときは初めに戻ること、OOVL がよいことが理解できた。
- ・あまり縁のないホスピスのことが分かり良かったです。

■看護師

- ・院内での多職種カンファと異なり、多職種の思考の違いをどうまとめるかどうか難しかった。
- ・対象者の背景を知ることがとても重要だと気付いた。たくさんお話をしていこうと思う。
- ・意思決定支援について学ぶことができた。
- ・支援について一緒に迷うこと考えること(プロセス)の大切さが実感できた。
- ・さまざまな職種の意見をきけて貴重な機会だった。
- ・OOVL のワークをしてみて、思っていたものと違うものが高得点になり興味深かった。
- ・多職種の視点や考え方の違いを知ることができた
- ・自分の思いや考えを共有でき、話し合いを通して違う考え方を知ることができよかったです。

■リハビリテーション職

- ・多くの他職種と意見交換できてよかった。OOVL の観点と主語が誰なのかという視点が理解できた。
- ・「自りつ」という普段、業務で使用する言葉の意味の深さと、自立支援を行うことの難しさに気づきました。
- ・他職種の話を聞くことで頭が整理された。

■管理栄養士

- ・ホスピスが少ないことを知れた。
- ・結果が想像できることでも議論することで内容が深くなると思った。
- ・同職種だと考え方が偏ってしまう。多職種だといろいろな考えが聞けるのでとても参考になりました。

■ケアマネジャー

- ・在宅支援、見える化するツールで他職種より意見いただき参考になりました。
- ・自分の考えと他者の考えの違いも気付きました。
- ・他の意見で気づきを得ることができた
- ・ワークを通していろいろ話がふくらんでとても良かった。
- ・同じものを見ていても捉え方の違いや、価値観の違いを感じました。
- ・ご本人の思いを見落とさないようにしたいです。
- ・多職種の考え方捉え方の違いを知ることができて良かった。
- ・パネルディスカッションではみんな思うことは同じなんだと再確認でき、安心感がありました。
- ・OOVL ツールは初めて知りましたが、本人の医師を見えるかするために面白いツールだと思いました。
- ・グループワークの時間がもう少し長い方がよかった。
- ・大学病院か入院か、通院かで考えが代わり、考えさせられました。
- ・どうしてそう思ったかを話し合うことで本人の気持ちに寄り添うことに近づけた。
- ・迷うことが大事、プロセスが大事ということを改めて実感できた。
- ・多職種として感じる点が違うことに気づく
- ・OOVL は、考えの違いはなかったが、判断が難しいものを一緒に考えることで職場や現在の担当ケースで持ち込んでみようと思った。
- ・パネルディスカッションでは専門職の立場でそれぞれが重視していることについて話されていて参考になった。
- ・グループワークでは考えを可視化できることで多職種との議論を深めることができた。
- ・見える化をすることで意思決定支援に繋がると感じた。
- ・職種や経験によりいろんな視点があることを実感した。
- ・意見の交流も活発で日々とても勉強されているのかなと感じました。

- ・多職種との視点の違いがとても面白かった。思いは同じなことも強く感じた。
- ・利用者本人や家族の思いや考え、選択肢を可視化して話し合っていくのによりツールだと思いました。
- ・視点を変えて問題を取り組みことで新たな気づきがえられました。

■医療ソーシャルワーカー・事務長

- ・他職種ならではの視点の違いがあり、大切にしていること優先順位の違いを感じた。
- ・正解はない、悩むことの大切さを共有することが必要ですね。
- ・職種や経験によっての考えの違いを感じられてよかったです。
- ・支援者が判断するのも情報がブラッシュアップされていないと判断が変わると感じました。大学病院で化学療法は入院？通院？それによっても負担感や選択が変わるのが体感できた。
- ・コンセンサスの重要性。
- ・グループワークは在宅医療の点数が一番高いと思っていたが、ホスピスが一番高かったのが興味深かったです。

4. ③医療・介護連携に関する取り組みやその他ご意見、ご感想、ご要望等がございましたらお聞かせください。

(原文ママ)

- ・OOVL のひな形が欲しいです。
- ・とてもいい機会で勉強になりました。ありがとうございました。
- ・このような会をまた開いていただければ、多職種の視点が学びになり交流にも繋がるので参加したいです。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・このような研修会があればまた参加させていただきたいです。
- ・在宅での薬剤管理をご本人からお断りされることが多いので訪看さんやケアマネジャーさんから勧めていただけるとありがたいです。
- ・もしバナや今回の意思決定支援ツールの他にも今後も知ることの出来る機会を設けていただけると嬉しいです。
- ・今後もこうした研修会を継続して行っていただきたいと思います。
- ・介護経験者として、介護はいろいろなケースがあるのでなかなか難しいです。
- ・緑区内でもっと関係が深くなることが患者様、利用者様の生活も充実すると思いました。